

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

令和4年度 横浜市水道事業会計及び工業用水道事業会計決算（速報値）の概要

水道事業会計

水道料金収入は 24 億円の増、純利益は 102 億円を確保

1 水道料金収入の増

令和4年度の水道料金収入は、令和3年7月に改定した新料金の全期間適用により、前年度に比べ税込で **24 億円 (3.2%) 増の 764 億円**となりました。

使用水量は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の解消が進み、前年度に比べ**家事用が 892 万 m^3 (2.8%) 減少**しましたが、**大型商業施設や宿泊業などの業務用等は 211 万 m^3 (3.1%) 増加**しました。

2 純利益の確保と累積資金残額の増

純利益は、料金収入が 24 億円増加した一方で、支出において電力価格の高騰に伴い動力費が 14 億円増加したことや、老朽管更新の更新延長が増えたことにより修繕費が 8 億円増加するなど前年度に比べて**2 億円増にとどまり 102 億円**となりました。

累積資金残額は、前年度に比べ **35 億円増加し 218 億円**となりました。

3 企業債の活用

今後、増大する施設更新費用の財源として、令和2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、**企業債残高は 1,583 億円**となりました。

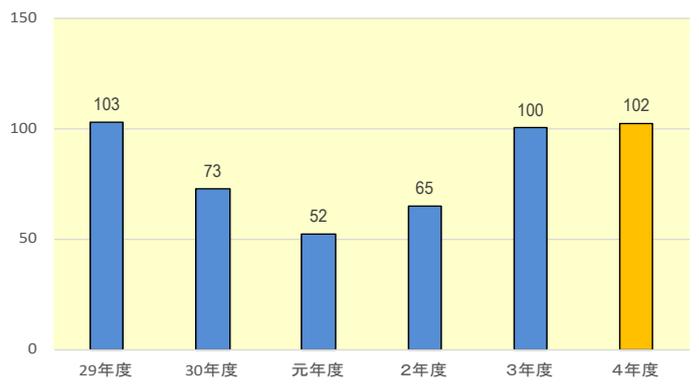
＜水道料金収入の状況(税込)＞

(単位: 億円)

	4年度	3年度	増△減
水道料金収入	764	740	24
うち家事用 (使用水量)	494 (3億468万 m^3)	491 (3億1,360万 m^3)	3 (Δ 892万 m^3)
うち業務用等 (使用水量)	270 (6,999万 m^3)	249 (6,788万 m^3)	21 (211万 m^3)

(億円)

純利益の推移



＜財政状況＞

(単位: 億円)

	4年度	3年度	増△減
純利益	102	100	2
累積資金残額	218	183	35
企業債残高	1,583	1,546	37

工業用水道事業会計

1 工業用水道料金収入

令和4年度の工業用水道料金収入は、前年度に比べ税込で **0.5 億円 (1.8%) 増加し 28.4 億円**となりました。

2 純利益の確保

純利益は、前年度に比べ **0.4 億円減少し 7.3 億円**となりました。

3 企業債の活用

令和2年度から企業債の割合を引き上げたことなどにより、企業債残高は **35.8 億円**となりました。

《工業用水道事業会計の収支状況(税込)》 (単位:億円)

	4年度	3年度	増△減
工業用水道料金収入	28.4	27.9	0.5
純利益	7.3	7.7	△0.4
累積資金残額	36.8	38.6	△1.8
企業債残高	35.8	33.3	2.5

(参考) 水道事業の主な取組

●給水工事受付センターが令和4年10月にオープン

住宅の新築や建替時に必要となる給水装置工事の受付・審査手続きの効率化の取組を進めています。

令和4年10月に「給水工事受付センター」を開設し、これまで市内7か所の水道事務所で行っていた給水装置工事の申請手続きを一元化することで、サービスの向上、水道局業務の効率化や将来に向けた技術力の維持を図っています。

また、令和元年度より運用している電子申請サービスについては更なる利便性の向上を図るとともに、令和6年中を目安に受付を電子申請に限定することで、DXやペーパーレスの推進を図ります。



窓口一元化の位置図



受付窓口



給水工事受付センター外観

お問合せ先

(水道事業会計に関すること) 水道局 経理課長	大矢 雅幸	TEL 045-671-3129
(工業用水道事業会計に関すること) 水道局 工業用水課長	尾和 弘朗	TEL 045-954-3331

令和4年度決算速報

横浜市水道事業会計

工業用水道事業会計

【資料編】

令和5年7月

横浜市水道局

目次

水道事業会計

- 1 水道料金収入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況
- 2 企業債残高の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 企業債残高の推移
- 3 関連資料 水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・・・ 2
 損益計算書・・・・・・・・・・・・・・ 3
 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・ 3

工業用水道事業会計

- 4 関連資料 工業用水道事業会計 決算概要表・・・・・・・・・・・・ 4
 損益計算書・・・・・・・・・・・・・・ 5
 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 水道料金収入の状況

《有収水量と給水戸数、水道料金収入の状況》

	4年度 ①	3年度 ②	増減①－②	増減率(%)
有収水量(m ³)	374,665,430	381,471,827	△6,806,397	△1.78%
給水戸数(戸)	1,939,135	1,922,053	17,082	0.89%
水道料金収入(百万円)	76,386	73,960	2,426	3.3%

※有収水量は水道料金収入の対象となった水量です。

2 企業債残高の状況

《企業債残高の推移》

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
企業債残高 (億円)	1,737	1,685	1,645	1,607	1,562	1,539	1,524	1,543	1,546	1,583
水道料金収入に対する 企業債残高の割合	2.59倍	2.58倍	2.53倍	2.49倍	2.41倍	2.38倍	2.39倍	2.44倍	2.30倍	2.28倍

関連資料

令和4年度水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

（単位：百万円，％）

区 分			令和4年度決算額		令和3年度決算額		増 減		
			金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率	
収 入	水道料金	金	76,386	82.0	73,960	81.7	2,426	3.3	
	他会計繰入金	金	6,302	6.8	5,977	6.6	325	5.4	
	浄水受託収益		1,729	1.8	1,731	1.9	△2	△0.1	
	水道利用加入金		1,377	1.5	1,443	1.6	△66	△4.6	
	長期前受金戻入		4,941	5.3	5,001	5.5	△60	△1.2	
	その他の		2,385	2.6	2,207	2.4	178	8.1	
	特別利益		0	0.0	259	0.3	△259	△100.0	
	計		93,120	100.0	90,578	100.0	2,542	2.8	
	的 支 出	人件費		11,181	14.0	11,081	14.2	100	0.9
		物件費等		26,330	32.9	24,694	31.6	1,636	6.6
動力費			3,467	4.3	2,091	2.7	1,376	65.8	
薬品費			531	0.7	519	0.7	12	2.3	
修繕費等			11,080	13.8	10,246	13.0	834	8.1	
委託料			6,907	8.6	6,729	8.6	178	2.6	
消費税及び地方消費税			1,155	1.5	1,670	2.1	△515	△30.9	
その他			3,190	4.0	3,439	4.4	△249	△7.3	
企業団受水費			16,606	20.8	16,789	21.5	△183	△1.1	
減価償却費等			23,866	29.8	23,492	30.0	374	1.6	
支払利息等		2,019	2.5	2,168	2.8	△149	△6.9		
計		80,002	100.0	78,224	100.0	1,778	2.3		
収 益 的 収 支 差 引		13,118	—	12,354	—	764	—		
消費税等調整額		2,892	—	2,324	—	568	—		
純 損 益		10,226	—	10,030	—	196	—		
資 本 的 収 入	企業債		12,293	71.1	13,979	87.8	△1,686	△12.1	
	一般会計出資金		3,339	19.3	634	4.0	2,705	426.7	
	工事負担金等		1,259	7.3	1,238	7.8	21	1.7	
	国庫補助金等		392	2.3	53	0.3	339	642.6	
	その他		7	0.0	19	0.1	△12	△62.4	
	計		17,290	100.0	15,923	100.0	1,367	8.6	
	的 支 出	建設改良費		35,341	80.5	29,176	68.1	6,165	21.1
		基幹施設整備事業費		6,637	15.1	4,934	11.5	1,703	34.5
		配水管整備事業費		27,378	62.4	22,410	52.3	4,968	22.2
		その他建設改良費		1,326	3.0	1,831	4.3	△505	△27.6
企業債償還金			8,548	19.5	13,666	31.9	△5,118	△37.5	
投資			12	0.0	13	0.0	△1	△11.6	
計		43,900	100.0	42,855	100.0	1,045	2.4		
資 本 的 収 支 差 引		△26,609	—	△26,932	—	322	△1.2		
純 損 益		10,226	—	10,030	—	196	—		
消費 税 等 調 整 額		2,892	—	2,324	—	568	—		
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金		19,831	—	19,316	—	515	—		
資 本 的 収 支 差 引 再 計		△26,609	—	△26,931	—	322	—		
退 職 手 当 支 給 額		△857	—	△678	—	△179	—		
前 年 度 か ら の 繰 越 資 金		5,394	—	2,245	—	3,149	—		
翌 年 度 へ の 繰 越 資 金		△7,380	—	△5,394	—	△1,985	—		
計（当年度資金収支）		3,497	—	910	—	2,587	—		
総 差 引		3,497	—	910	—	2,587	—		
前 年 度 末 資 金 残 額		18,281	—	17,371	—	910	—		
累 積 資 金 残 額		21,778	—	18,281	—	3,497	—		

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和4年度横浜市水道事業損益計算書（要旨）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位 百万円）

1	営業収益	78,466	
	うち水道料金収入	(69,449)	
2	営業費用	<u>72,989</u>	
	営業利益		5,476
3	営業外収益	6,839	
4	営業外費用	2,090	4,749
	経常利益		10,226
	当年度純利益		10,226
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		<u>6,729</u>
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>16,954</u></u>

令和4年度横浜市水道事業貸借対照表（要旨）

（令和5年3月31日）

（単位 百万円）

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	615,505	1 固定負債	170,072
(1)有形固定資産	528,290	2 流動負債	38,793
(2)無形固定資産	10,397	3 繰延収益	70,270
(3)投資その他の資産	76,818		
2 流動資産	56,620	負債合計	279,135
		1 資本金	362,117
		2 剰余金	30,873
		(1)資本剰余金	2,366
		(2)利益剰余金	28,507
		うち当年度未処分利益剰余金	16,954
		資本合計	392,990
資産合計	672,125	負債・資本合計	672,125

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

関連資料

令和4年度工業用水道事業会計決算概要表（対前年度比較：税込）

（単位：百万円，％）

区 分		令和4年度決算額		令和3年度決算額		増 △ 減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
収 入 支 出 支 支 支 支 支 支	工業用水道料金	2,838	92.6	2,789	93.1	49	1.8
	長期前受金戻入	205	6.7	190	6.3	15	7.9
	その他	21	0.7	18	0.6	3	17.9
	計	3,064	100.0	2,997	100.0	67	2.2
	人件費	226	10.4	215	10.4	11	5.1
	物件費等	1,020	46.8	980	47.4	40	4.0
	負担金	965	44.3	921	44.6	44	4.8
	修繕費等	1	0.0	17	0.8	△16	△93.7
	その他	54	2.5	42	2.0	12	27.5
	減価償却費等	892	41.0	830	40.2	62	7.5
	支払利息等	39	1.8	38	1.8	1	1.7
	計	2,177	100.0	2,063	100.0	114	5.5
	収益的収支差引	887	—	934	—	△47	—
	消費税等調整額	158	—	165	—	△7	—
純損益	729	—	769	—	△40	—	
資 本 的 収 入 支 出 支 支 支 支	企業債	502	78.1	676	82.1	△174	△25.7
	国庫補助金等	45	7.0	147	17.9	△102	△69.4
	その他	96	14.9	0	0.0	96	—
	計	643	100.0	823	100.0	△180	△21.8
	建設改良費	1,867	88.3	1,990	89.0	△123	△6.2
	工業用水道施設整備事業費	1,633	77.1	1,950	87.2	△317	△16.3
	その他建設改良費	234	11.2	40	1.8	194	492.2
	企業債償還金等	247	11.7	245	11.0	2	0.9
	計	2,114	100.0	2,235	100.0	△121	△5.4
	資本的収支差引	△1,471	—	△1,412	—	△59	△4.2
資 金 収 支	純損益	729	—	768	—	△39	—
	消費税等調整額	158	—	165	—	△7	—
	当年度分損益勘定留保資金	707	—	655	—	52	—
	資本的収支差引再計	△1,471	—	△1,412	—	△59	—
	退職手当支給額	△17	—	△13	—	△4	—
	前年度からの繰越資金	906	—	398	—	508	—
	翌年度への繰越資金	△1,189	—	△906	—	△283	—
	計（当年度資金収支）	△177	—	△345	—	168	—
前年度末資金残額	3,861	—	4,206	—	△345	—	
累積資金残額	3,684	—	3,861	—	△177	—	

（※）金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。構成比は円単位で計算しています。

関連資料

令和4年度横浜市工業用水道事業損益計算書 (要旨)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 百万円)

1	営業収益	2,581	
	うち 工業用水道料金収入	(2,580)	
2	営業費用	2,037	
	営業利益		544
3	営業外収益	224	
4	営業外費用	39	185
	経常利益		729
	当年度純利益		729
	前年度繰越利益剰余金		0
	その他未処分利益剰余金変動額		906
	当年度未処分利益剰余金		<u>1,635</u>

令和4年度横浜市工業用水道事業貸借対照表 (要旨)

(令和5年3月31日)

(単位 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	22,647	1 固定負債	3,627
(1)有形固定資産	22,635	2 流動負債	1,235
(2)無形固定資産	11	3 繰延収益	3,968
(3)投資その他の資産	1		
2 流動資産	5,862	負債合計	8,830
		1 資本金	14,948
		2 剰余金	4,730
		(1)資本剰余金	140
		(2)利益剰余金	4,590
		うち当年度未処分利益剰余金	1,635
		資本合計	19,678
資産合計	28,509	負債・資本合計	28,509

※金額の表示単位を百万円未満で四捨五入し、端数調整していないものがあります。

したがって、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。